

# CASBEE® 新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版  
■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

## 1. 建物概要

建物名称	(仮称)PDハウス新潟新築工事	
建設地	新潟県新潟市中央区紫竹山1丁目116番1の一部 他	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	
建物用途	病院	
竣工年	2024年7月 竣工	
敷地面積	1,740.80 m <sup>2</sup>	
建築面積	545.29 m <sup>2</sup>	
延床面積	2,030.57 m <sup>2</sup>	
階数	地上4F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2023年10月20日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

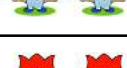


B+

$$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{42.3}{37.0} = 1.1$$

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★

## 3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア <b>3.0</b>		バリアフリー計画 維持管理 設備の更新性	Q2.1.1.3 Q2.1.3 Q2.3.3	3.0 3.0 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア <b>2.7</b>		耐震・免震・制震・制振 信頼性	Q2.2.1 Q2.2.4	3.0 2.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア <b>2.0</b>		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア <b>4.0</b>		建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 LR1.2	5.0 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア <b>3.7</b>		節水 軸体材料以外でのリサイクル材の使用 部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.1.1 LR2.2.4 LR2.2.6	4.0 3.0 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア <b>2.0</b>		生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	Q3.1 Q3.3.2	1.0 3.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア <b>2.5</b>		まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮、快適性の向上	Q3.2 Q3.3.1	3.0 2.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

優れた外皮性能を有し、自動水栓や節水型便器を採用する等、環境負荷を減らすよう配慮している。

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)PDハウス新潟新築工事	階数	地上4F
建設地	新潟県新潟市中央区紫竹山1丁目116番1の一部 他	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	54 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 竣工	評価の実施日	2023年10月20日
敷地面積	1,741 m <sup>2</sup>	作成者	中西 宏臣
建築面積	545 m <sup>2</sup>	確認日	2023年10月20日
延床面積	2,031 m <sup>2</sup>	確認者	中西 宏臣

**2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)**

**BEE = 1.1** ★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B': ★★★★ B: ★★ C: ★

30%: ★★★☆☆☆ 60%: ★★★☆☆ 80%: ★★★☆ 100%: ★☆ 100%超: ☆

**標準計算**

- ①参照値: 100%
- ②建築物の取組み: 79%
- ③上記+②以外の: 79%
- ④上記+: 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

**2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)**

Q のスコア = 2.6

**2-3 大項目の評価(レーダーチャート)**

Q2 サービス性能スコア: 2.9

Q3 室外環境(敷地内)スコア: 2.2

LR1 エネルギースコア: 3.9

LR2 資源・マテリアルスコア: 3.2

LR3 敷地外環境スコア: 3.2

**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

**Q 環境品質**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 2.8	Q2のスコア = 2.9	Q3のスコア = 2.2
音環境 2.6	機能性 3.4	生物環境 1.0
温熱環境 2.6	耐用性 3.0	まちなみ 3.0
光・視環境 2.7	対応性 2.2	地域性・ 2.5
空気質環境 3.3		

**LR 環境負荷低減性**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.9	LR2のスコア = 3.2	LR3のスコア = 3.2
建物外皮の 5.0	水資源 3.4	地球温暖化 3.8
自然エネ 3.0	非再生材料の 3.1	地域環境 2.9
設備シス 4.0	汚染物質 3.7	周辺環境 3.0
効率的 3.0		

**3 設計上の配慮事項**

**総合**

優れた外皮性能を有し、エネルギーの効率的な利用を図った設計としている。  
全居室に十分な広さと確保するとともに、高い日光利用率を備え、利用者の快適性を追求した設計としている。

**その他**

**Q1 室内環境**

適切な開口面積を有し、日光利用、自然換気能力に長ける。

**Q2 サービス性能**

全居室において10m以上の広さを有する設計としている。

**Q3 室外環境 (敷地内)**

特になし。

**LR1 エネルギー**

BPI<sub>m</sub>=0.75、BEI<sub>m</sub>=0.76と、建物外皮の熱負荷を抑制すると同時に、エネルギー消費性能についても配慮した設計としている。  
特に、エネルギー消費量の多い給湯設備について、配管の保温や自動水栓を設置することにより、負荷軽減を

**LR2 資源・マテリアル**

節水機器の採用、部材の再利用、汚染物質含有材料の使用回避により、可能な範囲で環境への配慮に努めている。

**LR3 敷地外環境**

エネルギー消費量の削減に努め、LCCO<sub>2</sub>の削減に寄与している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される